

所蔵作品展 こども×おとな工芸館

調度♥ハッピーのかたち

Crafts Gallery for Kids × Adults: Furnishings-Forms to be HAPPY

2017年7月4日(火)～9月3日(日)

開館40周年記念！こどもと一緒に、生活の中にある「ハッピーのかたち」を探る

住むところがきまったら、部屋に何を置きましょう。家具、照明、ファブリック。器もいくつか必要だし、なにか置物があってもいい―「調度（ちょうど）」とは、身近で用いる道具や家具、装飾品などを指す言葉です。最近あまり使わなくなったのでちょっと難しく聞こえるかもしれませんが、それでも調度品の数々で部屋のしつらいを考えるのは楽しいものです。

新居を一から整えるのはもちろん、季節ごとの模様替え、あるいはほんの思いつきで人形をひとつ置いてみる、そんなときにもワクワク気分がうまれます。なぜならそれがあるともっと素敵、もっとハッピーになれるというイメージが、モノの奥に広がっているから。それはモノを介して使う人と作った人とのイメージの交換であり、多くの場合、人の歴史が育んだ知恵と勇気と愛情が伝えられた瞬間でもあります。



♥この夏はこどもたちと一緒に工芸の魅力を探ってみませんか。

今年は工芸館開館40周年を記念して、おとなもこどもも工芸を楽しみながら学べるイベントが盛りだくさん！見てハッピー、知ってハッピー。ハッピーづくりの工芸館から帰ったら、あなたの部屋のハッピーのかたちが、前よりくっきり浮かびあがってくるかもしれません。

←広報用図版① 「調度♥ハッピーのかたち」展ポスター

↓広報用図版② 高橋禎彦《花のような》2004年

報道関係の方の
お問合せ先

東京国立近代美術館工芸館

展覧会担当／今井、中尾、西岡 広報担当／高橋

Tel：03-3211-7781（工芸課直通） E-mail：koge-pr@momat.go.jp

掲載用お問合せ先

Tel：03-5777-8600（ハローダイヤル）

公式HP

<http://www.momat.go.jp>

うつわや家具、人形、ファブリックなど、生活を「ハッピー」に彩る約100点の工芸作品を紹介。

私のハッピー



広報用図版③
川口淳《Box-Pandora》1994年

開けるたびにときめく箱や、1人で寛ぐ時間にほしい手まわりの品々、また、蒐集品を染めた屏風はそれらを買った旅の記憶を呼び起こしそうです。
ところで本を読むときは机と椅子派？それともゴロっと寝転ぶ派？
読書をめぐる和洋の調度もご紹介します。

ゆるやかな境界



広報用図版⑦
須藤玲子《羽オーガンジー》1994年

調度に日本的な感性が見られ、それに基づいたしつらいが意識されるようになったのは平安時代からと言われています。しなやかであらゆる形状に適応し、広い面でも容易に覆うことができる布は、寝殿造りの貴族の家でも、空間を区切るとともに、場の雰囲気を一変させ、時には聖俗を切り分ける象徴性を期待されることもありました。ここでは、物理と精神の二重の構造という調度における、布の働きに焦点を当てます。

誰かとハッピー

家族やお客さんと過ごす部屋には、私室よりもいくらか第三者の目を意識した品々が選ばれ、また人数やシチュエーションに応じて機能も吟味されます。といってもただ便利一点張りだけではなく、調度がおもてなしの心を伝えるコミュニケーションの要となる場合も少なくありません。ここではアートと生活とが有機的に結びついた和室空間にも注目します。



広報用図版④ 音丸耕堂《堆漆紅梅香合》1969年頃

LIFE

生きることと生活することの視点から、器と人形の作品を紹介します。



広報用図版⑤ 富本憲吉《色絵薊文角鉢》1938年

あどけない仕草に思わず手を差し伸べたくなるようなこの作品。人がなぜ人形を部屋に置くようになったのか、歴史をひもとくと可愛さの背後にあるゾクッとさせる瞬間の秘密が分かるかもしれません。

日本の器の種類は世界的にもめずらしいほど。本来食事は命を繋ぐ行為ですが、そのための道具である器には、季節感や遊び心まで盛り込まれ、私たちの暮らしは彩りを深めていきます。



広報用図版⑥ 野口光彦《陽炎》1969年

造形作家・川崎広平による特別展示

川崎広平の作品は、アクリル素材の構造体に特殊なオイルを注入したり、LEDなどの光源を組み込んだもの。イメージに即した素材を選ぶのではなく、素材の可能性を組み合わせる展開する構造的な美しさを志向し、ビスなどのパーツも成形上の制約に留まらない視覚的效果を上げています。



広報用図版⑧
川崎広平《無題》2016年 個人蔵

●川崎広平

1972年東京生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了。知的な作風はニューヨークのアートフェアでも絶賛され完売に。

※音丸耕堂、黒田辰秋、芹沢銈介、高橋禎彦、高村豊周、竹久夢二、富本憲吉、初代宮川香山、クリストファー・ドレッサー、イサム・ノグチ、野口光彦、ほか近代以降、国内外の工芸・デザインの作品で構成します。

飛び入り歓迎！申込不要のイベント

ジロジロめがね製作工房

＜ジロジロめがね＞は、こどもの鑑賞を手助けしてくれる工芸館オリジナルツールです。今年は自分だけの＜ジロジロめがね＞が作れる製作工房を開設。道具や材料も準備しています。

（※対象：家族でタッチ&トークに参加する小学生以下）



家族でタッチ&トーク

ガイドスタッフと一緒に作品にさわったり、おしゃべりしながら作品を観察したり、小さなお子さんも気軽にご参加いただけます。製作工房で作った＜ジロジロめがね＞が大活躍します。（製作工房に参加できなかったお子さんの分は、工芸館で＜ジロジロめがね＞を用意しています。）



ギャラリートーク

本展企画研究員が、会場で展覧会のみどころや、作品にかくされた「調度のハッピー」について紹介します。

おとなのタッチ&トーク

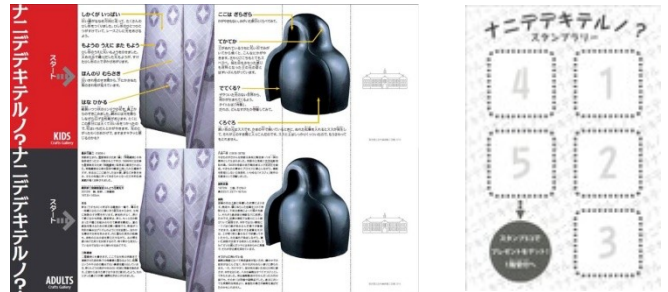
＜家族でタッチ&トーク＞と並行して、通常のタッチ&トークも行います。専門用語や道具など、工芸ならではの鑑賞のポイントを大人向けにたっぷりご紹介します。

つなげてハッピー

国立美術館オリジナル「アートカード」を使ったゲームで感性を開いたら、参加者自身の目で会場内のハッピーなつながりをレポートするワークショップ。あなたのハッピーな気づきを次の来館者につなげましょう。

ハッピーガイド&スタンプラリー

こどもとおとな、それぞれのセルフガイドを先着で無料配布します。5つのスタンプを集めると、それぞれに、ハッピーなプレゼントを差し上げます。（先着順）



※2016年「こども+おとな工芸館 ナニデデキテルノ？」展より

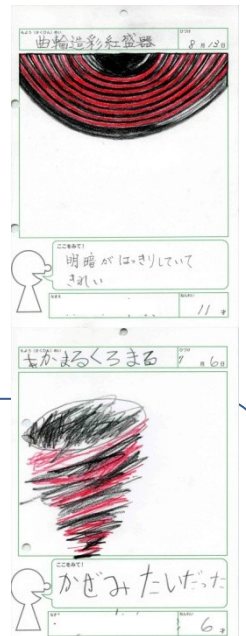
「+」から「×」にパワーアップ！

今年は「こども+おとな」から、「こども×おとな」にリニューアル。こどもだけの特権であったスタンプラリーや、図鑑づくりに大人も参加できるようになりました！

こども×おとなの感性のぶつけ合い対決で、展覧会を盛り上げます。

みんなで作るハッピー図鑑

絵とメッセージで会場の作品を紹介する図鑑作りを行います。来館者が見つけた「ハッピーのかたち」は会期中、工芸館内で公開しています。



※日時など、詳しいスケジュールは (P.4)へ

その他、夏休みの自由研究にぴったりな「キュレーターに挑戦！」や、こどもだけの特別なタッチ&トーク、さらに、「おとなのままごと」など、申込制のイベントも！応募〆切は7月3日です。詳細はHPにて。

●工芸館は2017年11月15日に、開館40周年をむかえます。

1977年に東京国立近代美術館の分館として活動を開始した工芸館は、今年で40周年を迎えます。「調度♥ハッピーのかたち」展～2018年5月13日までを、40周年特別期間として、トークイベントやワークショップ、アニバーサリー特典などをご用意しております。

【40周年についてのページ： <http://www.momat.go.jp/cg/40th/>】

つたえてハッピー

40周年記念企画として「調度♥ハッピーのかたち」展では、「つたえてハッピー」キャンペーンを開催します。工芸館前の**キャンペーンボード**で**写真を撮って**、キャンペーンにご参加ください！ハッピーなプレゼントあり！



※キャンペーンボード
設置予定場所

開催概要

展覧会名	(日本語) 所蔵作品展 こども×おとな工芸館 調度♥ハッピーのかたち (英語) Crafts Gallery for Kids × Adults: Furnishings-Forms to be HAPPY
会期	2017年7月4日(火)～2017年9月3日(日)
開館時間	午前10時～午後5時 (入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(7月17日は開館)、7月18日(火)
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館工芸館
アクセス	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩8分 東京メトロ東西線・半蔵門線 / 都営新宿線「九段下駅」2番出口 徒歩12分 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1
観覧料	一般250円(200円) 大学生130円(60円) 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。 * () 内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 * 割引・無料には入館の際、学生証・運転免許証など年齢のわかるもの、会員証、社員証、障害者手帳をご提示ください。 8月6日(日)、9月3日(日)は無料観覧日
イベント スケジュール 内容や日程については変更 の可能性があります。最新 情報はHPでご確認くだ さい。	※いずれも申込不要・参加無料(要当日観覧券) ★会期中随時：(先着順) ・ハッピーガイド&スタンプラリー(小学生以下：先着2000名/中学生以上：先着8000名) ・みんなでつくるハッピー図鑑(小学生以下：先着2000名/中学生以上：先着1000名) ・つたえてハッピー(先着888名) ★会期中毎週水・土曜日 13:30～13:55 ・ジロジロめがね製作工房(対象：家族でタッチ&トークに参加予定の小学生以下) ★会期中毎週水・土曜日 14:00～15:00 ・家族でタッチ&トーク ・おとなのタッチ&トーク ★7月9日(日) 14:00～15:00 ・ギャラリートーク(西岡梢(当館研究補佐員・本展企画者)) ★8月11日(金・祝) [午前]10:30～12:00 [午後]14:00～15:30 ・つなげてハッピー(所要時間約30分。時間内入退場自由。)
掲載用お問い合わせ先	Tel: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
公式HP	http://www.momat.go.jp



広報用図版⑨
黒田辰秋《櫛拭漆彫花文長椅子》1949年頃

“ネコさん”の正体は会場で!



出口付近では塀の上のネコさんが皆さんをお見送り。

お帰りの前に、ホールに置かれた人間国宝・黒田辰秋の椅子でひと休み。

広報用図版 請求票

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当 行

発信日 年 月 日

☒	No.	作品
☐	1	「調度♥ハッピーのかたち」展ポスター
☐	2	高橋禎彦《花のような》2004年 東京国立近代美術館蔵
☐	3	川口淳《Box-Pandora》1994年 東京国立近代美術館蔵
☐	4	音丸耕堂《堆漆紅梅香合》1969年頃 東京国立近代美術館蔵
☐	5	富本憲吉《色絵薊文角鉢》1938年 東京国立近代美術館蔵
☐	6	野口光彦《陽炎》1969年 東京国立近代美術館蔵
☐	7	須藤玲子《羽オーガンジー》1994年 東京国立近代美術館蔵
☐	8	川崎広平《無題》2016年 個人蔵
☐	9	黒田辰秋《櫛拭漆彫花文長椅子》1949年頃 東京国立近代美術館蔵

- ・ご希望の図版の左枠内に✓を入れてFAXでお送りください。
- ・作品図版はJPEGデータをご用意しています。
- ・展覧会広報のみにご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ・掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

ご担当者名：

E-mail：

貴社名：

出版物・放送番組・ウェブサイト名：

URL (http://www

)

掲載予定号・発行日/放送・公開日時等：

電話番号：

()

Fax：

()

*展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券をご用意いたします。

希望しない/希望する (5 組 10 枚)

〒

チケット送付先：

差支えなければ、アンケートにご協力下さい。(該当するものに○をつけてください。)

●この展覧会について、何でお知りになりましたか？

a.プレスリリース(郵送) b.ウェブサイト c.TwitterなどのSNS d.ポスター、チラシ e.その他 ()

●今後、工芸館からのリリース(郵送、またはメール)を希望されますか？

a.郵送希望 b.メール希望 c.特定のジャンル () に限り希望 d.希望しない

★ご協力ありがとうございました★

【報道関係の方からの本資料に関するお問い合わせ先】
 東京国立近代美術館工芸館 広報担当/高橋 TEL:03-3211-7781 (工芸課直通)
 E-mail: koge-pr@momat.go.jp HP: http://www.momat.go.jp